

子どもたちに安心・安全な保育を保障するために 今すぐ本気で配置基準改善！

少子化対策に「75年ぶりの配置基準改善」明記！

国が3月末に公表した「異次元の少子化対策」のたたき台（試案）で、「75年ぶりの配置基準改善」として「1歳児及び4・5歳児の職員配置基準について1歳児は6対1から5対1へ、4・5歳児は30対1から25対1へと改善」が盛り込まれました。配置基準改善が少子化対策に盛り込まれたことはこの間の運動の大きな成果であり、一歩前進です。

子どもたちの
ために

保育所等の職員配置基準を 今すぐ改善してください！

4・5歳児は70年以上、
1・2・3歳児は50年以上も改善されていません！

しかし、国は当面、配置基準の法令改定は行わずに、

加算の対応ですまそうとしており、決して十分な内容とはいえません。国際的にも貧しすぎる配置基準を改善するには、6月の「骨太方針2023」に、こども関係予算倍増、財源確保について明記させる必要があります。

世論の力で基準改善！—緊急WEB署名をもっと！

配置基準改善の実現には、保育者・保護者など当事者の声と世論の後押しが必要です。「今すぐ本気で保育所配置基準改善！」の声を、緊急WEB署名をさらに広げてください。

5/5～14は「配置基準改善を求める全国アピール旬間」です

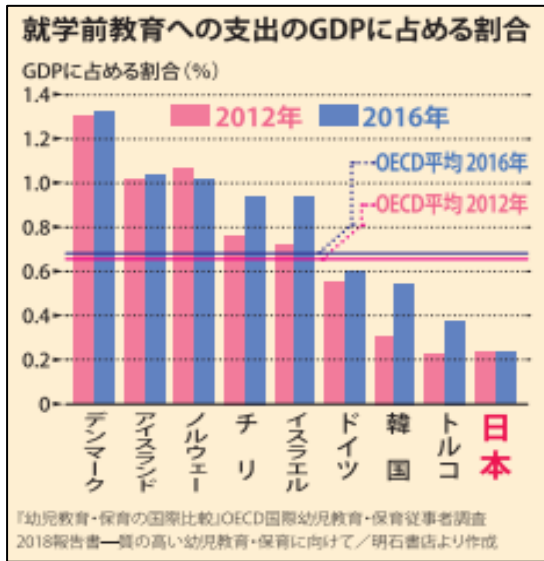
各地で保育園門前宣伝、街頭署名、パレードなどを行い世論にアピールしましょう。5月14日（日）は統一行動日です。全国から#ツイッターデモに参加して盛り上げましょう。

みんなで
#ツイッターデモ
5月14日（日）10時スタート

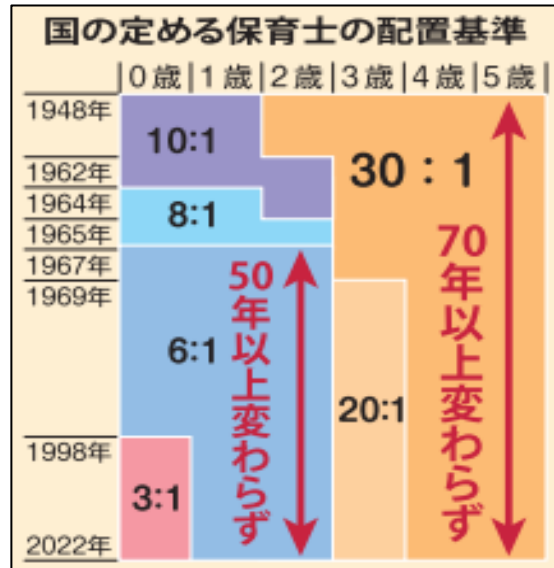
#今すぐ保育所配置基準改善！
#今すぐ子ども予算倍増！



●保育・子育て予算が少なすぎる！
もっと子どもにお金をかけて！



●日本の配置基準はずっと変わらず！



岸田首相は2023年6月の経済財政運営の基本方針（骨太方針）で、2024年以降の予算増の道筋を示すとなりました。配置基準を改善するには、財源を確保する必要があります。本気で少子化を克服するには、安心できる子育て環境の整備が必要です。防衛費を増やすのではなく、保育・子育て予算の大幅増額こそ国に求めましょう。

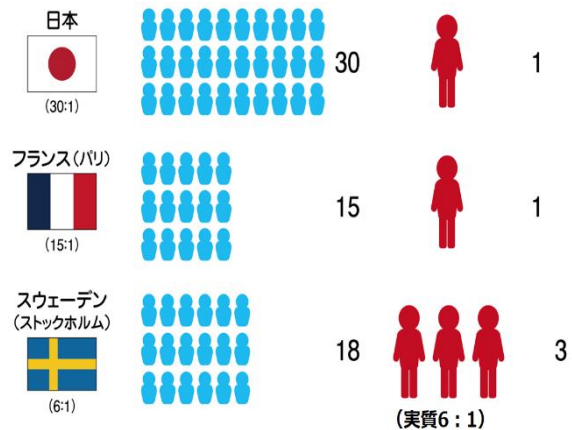
4・5歳児の配置基準は、制定以来75年、改善がされていません。小学校では2021年に40年ぶりに配置基準が改善されて少人数学級化がすすみ、1学級あたりの児童数平均は22.7人（学校基本調査概数）になっています。

諸外国の配置基準は、パリ市（フランス）は子ども15人に1人以上、ストックホルム市（スウェーデン）は1クラス最適人数14人（上限18人）に3人を標準としています。（『機能面に着目した保育所の環境・空間に係る研究事業 総合報告書』2009.3）。

日本の貧しい配置基準は、不適切保育の要因の一つともいわれています。

●4・5歳児の配置基準の国際比較

日本は保育士1人あたりの子どもの数が多すぎる！



緊急 WEB 署名にご協力ください

子どもたちのために保育所等の配置基準を
今すぐ改善してください

WEB 署名 (Change. org) はこちら



よりよい保育を！実行委員会

連絡先：全国保育団体連絡会（TEL03-6265-3171 FAX03-6265-3230）